

HULFT Squareアプリケーション仕様書

マーケティングソリューション
e-Stat

1.0 版 | 2024 年 6 月 11 日

e-Stat向けHULFT Squareアプリケーション Overview

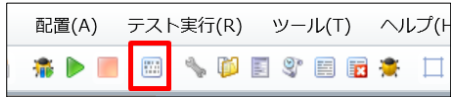
本アプリケーションについて

本アプリケーションはe-Statとのデータ連携を行うためのスクリプトのサンプルをアプリケーション化したものとなる

機能についてはアプリケーション概要ページを参照

コピー後、状況に合わせてカスタマイズすることを推奨する

コピー後、編集なしでスクリプトを実行する場合は、実行前にスクリプトのビルド（デザイナー画面赤枠）を実施する



INDEX

本アプリケーションについて

- ・アプリケーション概要

スクリプト設定手順

- ・設定フロー
- ・コネクション設定(e-Stat側)
- ・コネクション設定(HULFT Square側)
- ・スクリプト利用上注意

スクリプト詳細

- ・スクリプト設定(e-Stat_get_census_0000010103)

e-Stat向けHULFT Squareアプリケーション アプリケーション概要

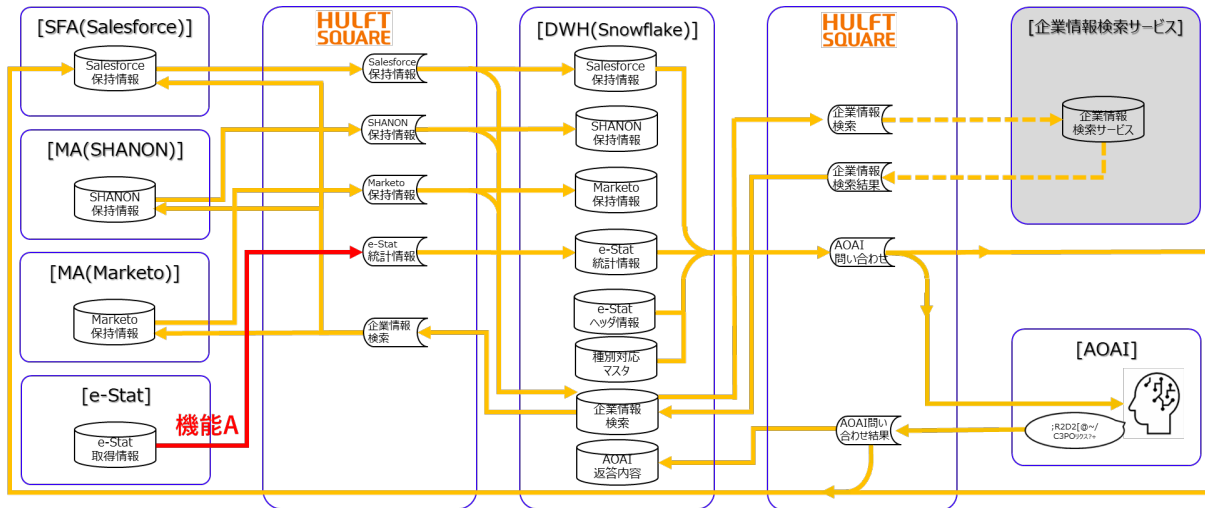
1.動作イメージ

本アプリケーションは、下図のようなMAソリューションをイメージしたシステムで、e-Statと組み合わせて動作することを想定している

本アプリケーションをインストールすることで、下記機能を持ったスクリプトのサンプルを使用することができる

- ・e-Statの都道府県別政府統計情報を取得し、CSVファイルに出力する

本アプリケーションの動作範囲は下図の赤線部分となり、機能Aが存在する



2.各機能とスクリプト

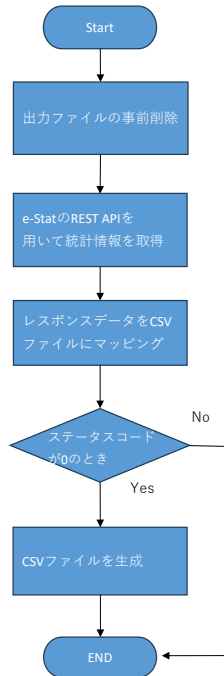
機能A：e-Stat情報取得

機能概要：e-Statの都道府県別政府統計情報を取得し、CSVファイルに出力する

使用スクリプト一覧：

ID	スクリプト名	対応機能
A-1	e-Stat_get_census_0000010103	e-Statの都道府県別政府統計情報を取得し、CSVファイルに出力する

A-1.e-Stat_get_census_0000010103



前提条件	e-Statはあらかじめログイン登録を行い、アプリケーションIDを取得しておく事
入力データ	e-Statサイトからの統計情報（※詳細は下記参照）
出力データ	e-Stat_CENSUS_0000010103.csv：e-Stat統計情報CSVファイル
エラー処理	CSVファイルを出力しない

※取得情報

産業大分類別営業状況 - 全国

0101:個人企業経済調査 個人企業経済調査（2019年（令和元年）以降）

statsDataId（統計表ID）= 0003421673

参考

（データ内容）<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003421673>

取得範囲

全都道府県

事業所種別コード C210701～C210725

全エントリー年度

取得項目

都道府県コード

事業所種別コード

エントリー年度

統計値

e-Stat向けHULFT Squareアプリケーション
設定フロー

本アプリケーションの設定フロー

1. [コネクション設定(e-Stat側)]に沿って設定を行う
 - ・ e-StatのアプリケーションIDを発行し、e-StatのAPIを利用可能にする
2. [コネクション設定(HULFT_Square側)]に沿って設定を行う
 - ・ HULFT Squareからe-Statへ接続するための設定を作成する
3. [アプリケーション概要]から利用するスクリプトを特定する
 - ・ 利用パターンに合ったスクリプトを特定する
4. [スクリプト利用上注意]を参照し、スクリプトをセットアップして利用する

e-Stat向けHULFT Squareアプリケーション コネクション設定(e-Stat側)

コネクション設定

HULFT Squareとe-Statの接続に必要な設定は以下の通り

e-Stat側設定(前提条件)

前提条件として、e-Statのサインアップを済ませておくこと

e-StatのアプリケーションIDを発行する
マイページから「API機能（アプリケーションID発行）」を開く



必要な情報を入力し、アプリケーションIDを発行する
アプリケーションIDはスクリプト内で利用するため、保持しておく

The screenshot shows the 'API機能(アプリケーションID発行)' form on the e-Stat website. The form has three rows for registering applications. Each row contains fields for '名称' (Name), 'URL', '概要' (Description), and 'appid'. There are also buttons for '発行' (Issue), '変更' (Change), and '廃止' (Cancel). The first row is pre-filled with '国勢統計情報取得' (National Census Information Acquisition) and a URL. The second and third rows are empty for user input.

e-Stat向けHULFT Squareアプリケーション
コネクション設定(HULFT Square側)

コネクション設定

HULFT Squareとe-Statの接続に必要な設定は以下の通り

HULFT Square側設定

APIリクエストを送信するための設定を作成する

コネクション設定(リクエスト用)

コネクタータイプ	REST
名前	任意
ワークスペース	任意
説明	任意
URL設定	http://api.e-stat.go.jp/rest/3.0/app/json/getStatsData
プロフィール	任意

e-Stat向けHULFT Squareアプリケーション スクリプト利用上注意

利用について

- ・想定と異なる出力結果、もしくは異常終了した場合、HULFT Squareの実行ログを参照しエラーを確認する
(後述の「エラーログの収集について」を参照)

エラーのログ収集について

HULFT Squareの実行ログは以下から取得できる

[モニタリング]>[サービス]>[HULFT Integrate]より、該当ログのメニューから[エクスポート]

サービス >

HULFT Integrate

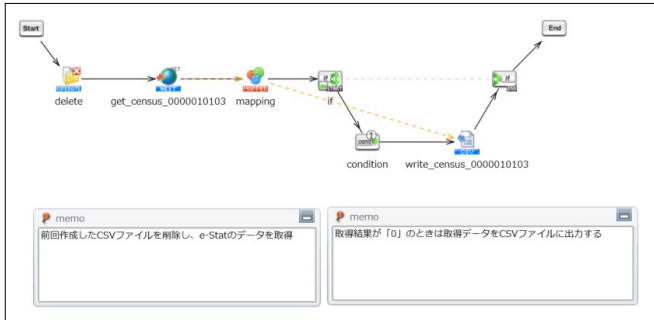
+ フィルタを追加

🔄 設定

	ステータス	プロジェクト名	バージョン	スクリプト名	プロファイル名
	✓	kaonavi	204	get_token	Profile1
	✓				Profile1
					詳細
					エクスポート

e-Stat向けHULFT Squareアプリケーション スクリプト設定(e-Stat_get_census_0000010103)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

e-Statの都道府県別政府統計情報を取得し、CSVファイルに出力する

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、スクリプトをインストールするだけでは設定されないため、スクリプトをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

HULFT Square URL	
ワークスペース	
格納プロジェクト名	e-Stat
格納フォルダ名	
スクリプト名	e-Stat_get_census_0000010103

外部システムから取り込む値/ファイル

なし	なし
----	----

スクリプト変数

L_appld	[コネクション設定 (e-Stat側)]で取得したアプリケーションID
LC_statsDataId	取得する統計データID、初期値：0000010103
LC_cdCat01	取得する分類事項項目コード、初期値：C210701,C210702,C210703,C210704,C210705,C210706,C210707,C210708,C210709,C210710,C210711,C210712,C210713,C210714,C210715,C210716,C210717,C210718,C210719,C210720,C210721,C210722,C210723,C210724,C210725
L_status	RESULT要素の結果コードセット用

スクリプト詳細設定

コンポーネント名	
delete  delete	
コンポーネント概要	
前回実行時に作成したCSVファイルを削除	
必須設定	
ファイル	/[利用するワークスペース名]/e-Stat/e-Stat_CENSUS_0000010103.csv
削除オプション	
強制削除しない	有効
ファイル/ディレクトリが存在しない場合はエラー	無効

コンポーネント名																								
get_census_0000010103																								
																								
get_census_0000010103																								
コンポーネント概要																								
e-Statの統計情報を取得																								
必須設定																								
接続先	[API リクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照																							
パス																								
エンコード	UTF-8																							
クエリパラメータ	<table><tr><td>名前</td><td>値</td></tr><tr><td>cdCat01</td><td>\${LC_cdCat01}</td></tr><tr><td>appld</td><td>\${L_appld}</td></tr><tr><td>lang</td><td>J</td></tr><tr><td>statsDataId</td><td>\${LC_statsDataId}</td></tr><tr><td>metaGetFlg</td><td>Y</td></tr><tr><td>cntGetFlg</td><td>N</td></tr><tr><td>explanationGetFlg</td><td>Y</td></tr><tr><td>annotationGetFlg</td><td>Y</td></tr><tr><td>sectionHeaderFlg</td><td>1</td></tr><tr><td>replaceSpChars</td><td>0</td></tr></table>		名前	値	cdCat01	\${LC_cdCat01}	appld	\${L_appld}	lang	J	statsDataId	\${LC_statsDataId}	metaGetFlg	Y	cntGetFlg	N	explanationGetFlg	Y	annotationGetFlg	Y	sectionHeaderFlg	1	replaceSpChars	0
名前	値																							
cdCat01	\${LC_cdCat01}																							
appld	\${L_appld}																							
lang	J																							
statsDataId	\${LC_statsDataId}																							
metaGetFlg	Y																							
cntGetFlg	N																							
explanationGetFlg	Y																							
annotationGetFlg	Y																							
sectionHeaderFlg	1																							
replaceSpChars	0																							
レスポンス設定																								
データ出力先	データ																							
データ形式	JSON																							
レスポンステンプレート	<pre><code>GET_STATS_DATA: { RESULT: { STATUS: 0, ERROR_MSG: "正常に終了しました。", DATE: "2024-02-15T17:41:53.521+09:00" }, PARAMETER: { MSG: "" } }</code></pre>																							
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	ENABLED																							
ヘッダ設定																								
リクエストヘッダ	なし																							
レスポンスヘッダ	なし																							
認証設定																								
認証設定	なし																							

コンポーネント名		
mapping		
		
mapping		
コンポーネント概要		
レスポンスデータをCSVファイルにマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
入力データ/get_census_0000010103/root/GET_STATS_DATA/RESULT/STATUS	単純遷移	スクリプト変数/L_status
	単一行文字列定数 (\${LC_statsDataId})	出力データ/write_census_0000010103/table/row/STATS_DATA_ID
入力データ/get_census_0000010103/root/GET_STATS_DATA/STATISTICSL_DATA/DATA_INF/VALUE/element	単純な繰り返し	出力データ/write_census_0000010103/table/row
入力データ/get_census_0000010103/root/GET_STATS_DATA/STATISTICSL_DATA/DATA_INF/VALUE/element	Xpathによる値の取得 (member[1])	出力データ/write_census_0000010103/table/row/HEADER_01
入力データ/get_census_0000010103/root/GET_STATS_DATA/STATISTICSL_DATA/DATA_INF/VALUE/element	Xpathによる値の取得 (member[2])	出力データ/write_census_0000010103/table/row/HEADER_02
入力データ/get_census_0000010103/root/GET_STATS_DATA/STATISTICSL_DATA/DATA_INF/VALUE/element	Xpathによる値の取得 (member[3])	出力データ/write_census_0000010103/table/row/HEADER_03
入力データ/get_census_0000010103/root/GET_STATS_DATA/STATISTICSL_DATA/DATA_INF/VALUE/element	Xpathによる値の取得 (member[4])	出力データ/write_census_0000010103/table/row/HEADER_04
入力データ/get_census_0000010103/root/GET_STATS_DATA/STATISTICSL_DATA/DATA_INF/VALUE/element	Xpathによる値の取得 (member[5])	出力データ/write_census_0000010103/table/row/HEADER_05
入力データ/get_census_0000010103/root/GET_STATS_DATA/STATISTICSL_DATA/DATA_INF/VALUE/element	Xpathによる値の取得 (member[6])	出力データ/write_census_0000010103/table/row/STATS_VALUE

コンポーネント名	
error_if / error_if , init_error	
	
error_if	
コンポーネント概要	
正常終了しているか分岐処理	
必須設定	
条件式 (condition)	変数 L_status が 0 と等しい

if : condition

コンポーネント名	
write_census_0000010103	
	
write_census_0000010103	
コンポーネント概要	
取得した統計情報をCSVファイルに書き込み	
必須設定	
ファイル	{利用するワークスペース名}/e-Stat/e-Stat_CENSUS_0000010103.csv
デリミタ文字	半角カンマ
列一覧	STATS_DATA_ID、HEADER_01、HEADER_02、HEADER_03、HEADER_04、HEADER_05、STATS_VALUE
書き込み設定	
エンコード	UTF-8
改行コード	CR+LF
上書き	ENABLED
追加書き込み	DISABLED
1行目に列名を挿入	ENABLED
ファイルが存在する場合は列名を挿入しない	DISABLED

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定(e-Stat側)」を設定する
2. 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
3. 本アプリケーションをインストールする
4. スクリプト変数の初期値を入力します
 - ・L_applidにアプリケーションIDを入力
5. コンポーネント「get_census_0000010103」の接続先を設定する
 - ・「必須設定」の「接続先」設定
6. コンポーネント「write_census_0000010103」のファイルパスを設定
7. コンポーネント「delete」の削除ファイルパスを出力ファイルと合わせ設定
8. スクリプトを実行する